

日本生物工学会（SBJ）は台湾生物工学会（[Biotechnology and Biochemical Engineering Society of Taiwan](#); BEST）と2017年に学術協定を締結し、年次大会を通して両学会および会員間の交流を深めています。

第29回になる今年のBEST大会（The 29th BEST Conference & International Symposium on Biotechnology and Biochemical Engineering）は、2024年6月21日（金）～23日（日）にNational Penghu University of Science and Technology（台湾澎湖県馬公市）で開催されました。“Advancement in Sustainable Innovation: Integrating AI, Biotechnology, and Zero-Carbon for the Future”という大会テーマのもと、米国、韓国、マレーシア、タイ、台湾、および日本の研究者26名が8つのセッションに分かれて講演を行い活発な討論が行われました。本会からは中野秀雄教授（名古屋大学）と本田孝祐教授（大阪大学）が参加し、本田教授は、6月22日（土）午前のセッション“Metabolic Engineering and Synthetic Biology”、中野教授は、同日午後のセッション“Biocatalysts and Protein Engineering”で招待講演を行いました。



招待講演の様子（本田孝祐先生）



招待講演の様子（中野秀雄先生）



(左より、Prof. Chuenchit Boonchird (TSB (タイ生物工学会) 会長)  
中野先生、本田先生  
Prof. Yu-Kaung Chang (BEST会長)  
Prof. I-Song Ng (National Cheng Kung University)